

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-298336
 (43)Date of publication of application : 12.11.1993

(51)Int.Cl. G06F 15/21

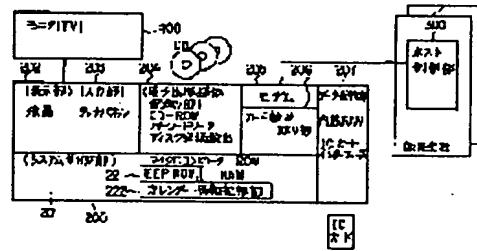
(21)Application number : 04-104421 (71)Applicant : TOSHIBA CORP
 TOSHIBA AVE CORP
 (22)Date of filing : 23.04.1992 (72)Inventor : MORIKAWA TAKEO
 KIKUCHI SHINICHI
 WATABE KEIICHI

(54) CATALOGUE SHOPPING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the generation of ordering errors and to attain a satisfactory order for users by making the storage and handling of catalogue media convenient and accurately and easily obtaining correspondence between catalogue commodities and their prices from a selling company.

CONSTITUTION: When an electronic publishing medium such as a CD-ROM storing catalogue information is driven by an access part 204 and conditions for purchasing a commodity are inputted from an operation input part 203, the 1st commodity information matched with the conditions is displayed on a display part 202. When another medium is loaded to the access part 204, disk displacement is detected and the 2nd commodity information satisfying foregoing conditions are automatically searched from the other medium and displayed on the display part 202 together with the 1st commodity information.



[decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-298336

(43)公開日 平成5年(1993)11月12日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号 庁内整理番号
330 7218-5L

FL

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1(全 6 頁)

(21) 出頭番号

特顯平4-104421

(22) 出願日

平成4年(1992)4月23日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町727番地

(71)出願人 000221029

東芝エー・ブイ・イー株式会社
東京都港区新橋3丁目3番9号

(72)発明者 守川 健夫

神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株式会社東芝映像メディア技術研究所内

(72)発明者 菊地 伸一

東京都港区新橋3丁目3番
一・ブイ・イー株式会社内

(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

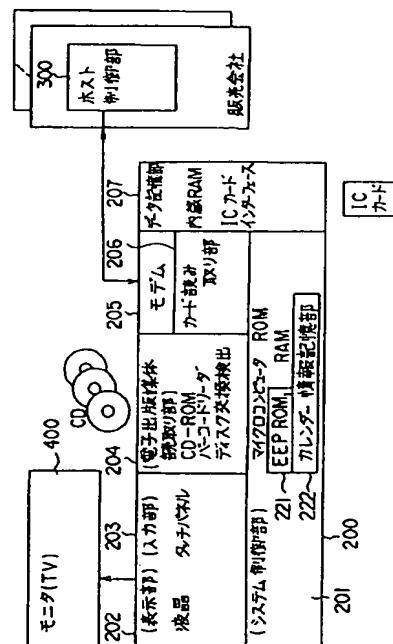
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 カタログショッピングシステム

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】カタログ媒体の保管、取り扱いが便利であること、販売会社からのカタログの商品及び価格の対比が正確で容易に得られ、ひいては注文ミスを防止でき、ユーザの納得のいく注文が可能とする。

【構成】 カタログ情報を格納した C D - R O M 等電子出版媒体がアクセス部 2 0 4 で駆動され、操作入力部 2 0 3 から商品購入のための条件を入力すると、条件に適合する第 1 の商品情報が表示部 2 0 2 に表示される。他の媒体をアクセス部 2 0 4 に装填すると、ディスク交換が検出され、他の媒体から前記条件を満足する第 2 の商品情報が自動的にサーチされ第 1 の商品情報と併記した状態で表示される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザの端末に、カタログ情報を格納した電子出版媒体を駆動するアクセス装置と、プログラムデータ及び処理データ等を格納した記憶手段と、前記電子出版媒体アクセス装置等を動作させるための操作入力を与えるための操作入力部と、前記操作入力部からの操作入力に応答して、前記記憶手段からプログラムデータを読み出し、このプログラムデータによる手順に従って、前記電子出版媒体アクセス装置、前記記憶手段を制御するとともに表示部の表示内容をも制御するシステム制御部と、前記システム制御部に設けられ、現在アクセス対象となっている第1の電子出版媒体から、ユーザの希望する価格、支払い方法等の条件を満足する第1の商品情報を表示された状態から、他の第2の電子出版媒体にアクセス対象が切り替わった場合、この第2の電子出版媒体から前記条件を満足する第2の商品情報を自動的に、前記第1の商品情報と併記した状態で表示する比較制御手段とを具備したことを特徴とするカタログショッピングシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、CD-ROM等の電子出版媒体をカタログとして利用するカタログショッピングシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来のカタログショッピング方法では、販売会社とユーザが契約を結ぶと、販売会社からユーザへ書籍形態のカタログが配布される。ユーザは、カタログを見て希望の商品を選択し、その例え商品番号を販売会社へ電話あるいは郵便等の手段で通知する。すると、販売会社から商品が送られてくる。その後、または商品番号の通知と同時に、ユーザは銀行口座による自動引き落とし、あるいは振り込みにより代金の納付を行っている。

【0003】また、最近では、パソコン通信を利用して発注を行う方法も存在する。この方法は、電話回線によりパソコン通信により一般のNET局（例：PC-VAN、NIFTYサーブ）をアクセスし、発注専用のフォーラムに移動し、ホストから販売している商品の情報（カタログに書かれているものと同じ）を画面に表示し、そのデータに従って、希望の商品を選択する方法である。支払は、予めセットされたクレジットカードで行うことになる。その他の、ショッピング方法としては、ファクシミリを利用して発注を行う方法もある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来のカタログショッピング方法においては、以下のような問題が指摘される。

【0005】ユーザの希望の商品ジャンル、予算等に応じてユーザ自身がカタログを詳細に検索している。このために、予算と希望の商品をマッチングさせるのに手間取ったり、見落としを生じたりする。カタログも非常に分厚いものとなり、持ち運びに不便である。これに加えて、特に、種々の販売会社からのカタログを入手した場合、同じジャンルの商品を見比べたり、価格の対比を行うには、極めて不便である。例えば、カタログAから商品を選んで注文を行ったが、その後カタログBに記載されている同様な商品の方がユーザの好みに一層マッチし、価格が安いような場合、ユーザに取っては不満が残ってしまうことがある。

【0006】そこでこの発明は、カタログ媒体の保管、取り扱いが便利であること、販売会社からのカタログの商品及び価格の対比が正確で容易に得られ、ひいては注文ミスを防止でき、ユーザの納得のいく注文が可能なカタログショッピングシステムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】そこでこの発明は、現在アクセス対象となっている第1の電子出版媒体から、ユーザの希望する価格、支払い方法等の条件を満足する第1の商品情報を表示された状態から、他の第2の電子出版媒体にアクセス対象が切り替わった場合、この第2の電子出版媒体から前記条件を満足する第2の商品情報を自動的に、前記第1の商品情報と併記した状態で表示する比較制御手段を備えるものである。

【0008】

【作用】上記の手段により、ユーザは、異なる電子出版媒体に格納されている、同種、あるいは同様な商品及びその価格等を表示部において見比べて、最終的に購入希望の指定を行うことができ、注文ミスを防止でき、ユーザの納得のいく注文が可能となる。

【0009】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面を参照して説明する。

【0010】図1は、カタログショッピングシステムのユーザ側端末の基本構成を示している。200は端末本体であり、変調及び復調手段を含むモジュール220が設けられ、電話回線を通じて各種の販売会社のホスト制御部300との交信を行うことができる。端末本体200内部には、システムを制御するためのシステム制御部201、表示部202、入力部203、電子出版媒体アクセス部204、変調及び復調手段を含むモジュール205、カード読み取り部206、データ記憶部207が設けられている。モジュール204は、電話回線を通じて各種の販売会社のホスト制御部300と接続され、ユーザ側端末と販売会社のホスト制御部300との交信を実現させることができる。

【0011】表示部202は、電子カタログの内容ある

い操作ガイド、グラフィック表示等を行うもので、例えば液晶表示装置が利用されている。入力部203は、液晶表示装置の前面に例えばタッチパネルを配置することにより実現されており、表示内容とタッチスイッチ入力部が対応するようにシステム制御部201により制御される。電子出版媒体アクセス部204は、例えばCD-ROMをアクセスする部分であり、CD-ROMは、カタログ情報を格納しており販売会社から送られてきたもので、商品、その商品コード、価格等の情報が含まれている。電子出版媒体アクセス部204には、CDに貼られたバーコード情報を読み取るための媒体識別手段が設けられている。また、ディスク交換を検出するディスク交換検出手段も設けられ、システム制御部201へ割り込み信号を与えるようになっている。モデム205は、電話回線を通じて販売会社のホスト制御部300と接続状態を得るが、必要に応じてシステム制御部201からの指定により、指定に応じて販売会社のホスト制御部と接続され、データの送受信を行うことができる。

【0012】入力部203でユーザが商品購入の指定を行ったときに、例えば表示部202にカード挿入を要求する表示が行われる。ユーザは自己の所有するクレジットカードあるいは銀行口座のカードもしくはプリペイカードをカード読み取り部206に挿入する。するとカード読み取り部206はカード情報を読み取り、その情報をモデム205を通じて販売会社のホスト制御部300へ伝送される。販売会社は、そのカード情報をチェックして、銀行引き落としが可能であるかどうかを判定し、販売成立または不成立の結果である情報を返送する。

【0013】システム制御部201には、マイコン、固定のシステムプログラムがある他に、特に書き込み読み出し可能な内蔵の記憶部221が設けられている。この記憶部221は、電子カタログ情報の処理プログラムや処理データ等を変更する必要があるときに利用される。システム制御部201は、マイコン、ROM、RAM、EEPROM等を有し、書換不可のROM、書換可能EEPROMに内蔵されたマイコンプログラムにより動作が規定される。ROMには、CD-ROMから最初に必要なデータ（共通ヘッダー部）を読み出し、実際のカタログショッピングを行うプログラムが格納されている。またEEPROM（記憶部221）の内容を変更するかどうかのプログラムも格納されている。

【0014】電子カタログ情報の処理プログラムを変更する必要が生じるケースとしては、例えば、内容の追加、商品項目の削減、あるいは増加された新たなCD-ROMが発売され、自己の所有するCD-ROMのプログラムやデータでは、現在販売されている商品をすべて検索できない場合、あるいは、価格の変更が生じた場合等がある。このように、このシステムにおいては、CD-ROMに関する固定の情報と、変動する情報を扱うことができ、しかも変動情報は、自動的に最適のものに

切り替えられるようになっている。

【0015】カレンダー情報記憶部222は、電源バックアップされたカレンダー用ICにより構成される。このカレンダー情報記憶部222のカレンダー情報を用いて、システム制御部201は、上記記憶部221における情報の保存期間、削除期日等の管理をすることができる。

【0016】データ記憶部207は、内蔵のRAMと着脱可能なICカードのデータ読み取り部を有する。このデータ記憶部207は、システム制御部201の内蔵の記憶部と異なり、むしろ個人の情報管理のために利用される。この記憶部207は、カード読み取り部206で読み取られるカードのカード会社名、購入金額、分割支払い情報を格納することができる。このように、クレジットカードの使用状況を管理しておくことにより、個人会計管理情報をとして利用することができる。例えば、複数のクレジットカードを有するユーザは、いずれのカードを何の商品購入に使用したのか、現在の月払い金額は総額でいくらになるのか、さらにはいずれの銀行口座にいくら振り込む必要があるか等の情報を記憶させておくことができる。そしてこれらの情報を、システム制御部201のプログラムにより読み出し、表示部202に表示して確認することもできる。また、これらの情報を個人のICカードに移しておき、必要なときにその情報確認を行ふこともできる。

【0017】さらにこのシステムには、表示内容を高級化するために、テレビジョン等のモニタ400を接続して表示させることもできる。カタログショッピングを行う場合に、商品を次々と映出して見ることも可能である。勿論、この場合はCD-ROMには、映像情報も格納されている。なお、電子出版媒体のアクセス手段としては、CD-ROMに限らず、磁気テープ、VTR一体型等の手段を用いても良い。

【0018】図2は、商品比較モードにより動作する比較制御手段のデータ処理手順の例を示している。商品比較モードにおいては、現在アクセス対象となっている第1のCD-ROMから、ユーザの希望する価格、支払い方法等の条件を満足する第1の商品情報が表示された状態から、他の第2のCD-ROMにアクセス対象が切り替わった場合、この第2のCD-ROMからすでに入力されている前記条件を満足する第2の商品情報を自動的に、第1の商品情報と併記した状態で表示することができる。システムがスタートし、商品選択処理が行われる（ステップC1、C2）。この処理では、例えばユーザがメニュー画面上のタッチスイッチあるいはキーボードから商品ジャンル、価格、支払い形態を入力すると、その価格内の商品のサーチが開始される。1つあるいは2つの商品が検索され、かつ会計管理情報を用いてこのユーザが支払い可能であるかどうかを判定する。支払い不可能であれば、次の商品、価格データの検索を実行す

る。支払い可能であれば、当該商品及び価格を表示する。ユーザは、表示されている商品を見て購入を行うか否かの決定を行う。このときの商品コード（あるいは番号）、価格、カタログ販売会社の電話番号、納期等の商品情報は、書き込み読み出し可能なメモリに格納される。

【0019】次にこの商品を発注する場合には、発注操作がなされ、処理を終了する場合には終了操作がなされる（ステップC3、C4）。また、CD-ROMの交換が行われたかどうかの判定もなされる（ステップC5）。このための検出信号は、ディスク交換検出手段から得られる。CD-ROMの交換があった場合、そのCD-ROMのヘッダー情報（ディスク情報）がまず読み取られる。この情報としては、ディスクID、カタログ提供社情報がある。カタログ提供社情報には、カタログ提供社（コードNo.）、カタログ提供社（表示のための文字コード）、カタログ製造年月日、カタログ有効期限のデータがある。またカタログ提供社の電話番号情報も記録されており、自動的に回線接続を行う場合に利用される。さらに料金支払い情報がある。料金支払い情報には、利用可能クレジット会社コード、分割払い可能情報等がある。さらにプログラム更新情報がある。プログラム更新情報としては、バージョン番号、更新プログラム存在フラグ、更新プログラムアドレス及びサイズ、ブレーヤ更新開始アドレス及びサイズ等がある。またカタログ情報開始アドレスも存在する。これらの情報は、一旦書き込み読み出し可能なメモリに格納される。

【0020】そして、交換前のディスクのヘッダー情報と比較され、CD-ROMが全く同一のものであるかどうかの判定がなされる（ステップC7）。これは、同一のCD-ROMを何等かの原因で、ユーザが抜き差しする場合があったり、同一CD-ROMを2枚所有する場合があるからである。

【0021】CD-ROMが別の内容のものに交換されたことが判明すると、先の商品決定のときに格納しておいた商品コードもしくは商品サーチのための条件となった情報が利用され、対応する商品が自動的にサーチされる（ステップC8）。この機能により、ユーザは、再度商品ジャンルや価格、支払い方法などのキー操作を行う必要がなく、迅速に希望商品（対比させるべき商品）を表示部に見ることができる（ステップC9）。

【0022】表示部において、商品情報が併記されて表示され、ユーザが発注を希望する場合には、発注操作キーが操作される。このとき、複数のカタログからの商品情報が表示されている場合は、いずれのカタログの商品を発注するのかの選択操作を行うように、ガイド表示が行われる（ステップC10、ステップC11）。発注すべき商品が最終的に決まると、当該商品のカタログ販売会社へ、先に記憶しておいた電話情報を用いて自動的に回線接続が行われ、発注処理が終了する（ステップC12）。

2、C13）。

【0023】なおステップC8の商品サーチ処理において、自動的な商品サーチが行われるが、ユーザの操作としては、次候補の操作キーを操作できるようになっており、同様な商品を種々サーチできるようになっている。また、ステップC2では、商品ジャンルと希望価格を入力できるものとして説明したが、価格入力として、価格の範囲を入力可能とすることもできる。

【0024】また、このシステムでは、上記の処理を若干修正することにより、複数のCD-ROM（ことなるカタログ会社のもの）の商品を併記して一覧表を作成して表示することも容易である。

【0025】図3は、上記の処理に関係する表示部202の表示例とデータフォーマットの例を示している。複数のカタログに渡って同一商品の価格を対比する場合、図3（A）のように、商品名とその商品が表示され、例えば各ディスク（CD-ROM）の名称と、このカタログによる価格が表形式で表示される。図3（B）の例は、商品名と販売価格等が表形式で多数併記された表示例である。

【0026】図4（A）は、商品情報を一時記憶する記憶部のデータ形式であり、商品コード単位で商品をサーチした場合、商品コード、ディスクID、販売会社名、発注先の電話番号、支払い方法、販売価格の情報等が組みになって記憶される。また、図4（B）は、別のデータ形式の例である。商品ジャンルの単位で、商品をサーチした場合、複数の商品が検索される。そこで、さらに商品コード毎に分類されて、商品コード、ディスクID、販売会社名、発注先の電話番号、支払い方法、販売価格の情報等が組みになって記憶される。

【0027】上記の例は一部の例であり、その他各種のデータ処理方法が可能である。また表示内容についても、種々の形態が可能であり納品期日等を表示できるようにしても良い。

【0028】

【発明の効果】以上説明したようにこの発明は、カタログ媒体の保管、取り扱いが便利であること、販売会社からのカタログの商品及び価格の対比が正確で容易に得られ、ひいては注文ミスを防止でき、ユーザの納得のいく注文が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のシステムの一実施例におけるユーザ側端末の構成説明図。

【図2】図1の端末のデータ処理手順の例を示すフローチャート。

【図3】この発明システムの動作を説明するために示した表示装置における表示の説明図。

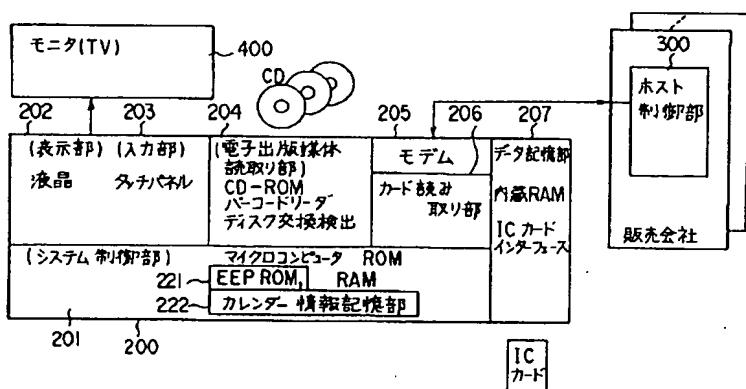
【図4】この発明システムの動作を説明するためのデータフォーマットの例を示す説明図。

【符号の説明】

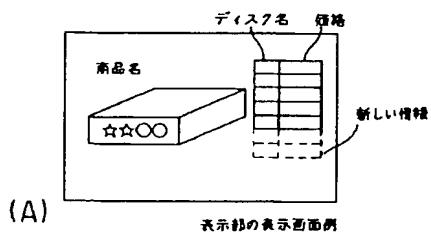
201…システム制御部、202…表示部、203…入力部、204…電子出版媒体読み取り部、205…モデル、206…カード読み取り部、207…データ記憶

部、221…記憶部、222…カレンダー情報記憶部、300…ホスト制御部。

【図1】



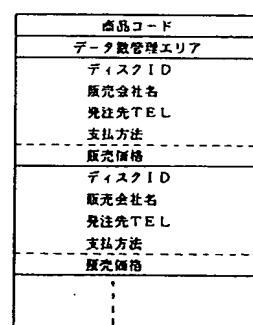
【図3】



(A)

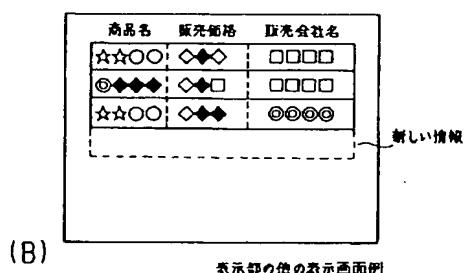
表示部の表示画面例

【図4】



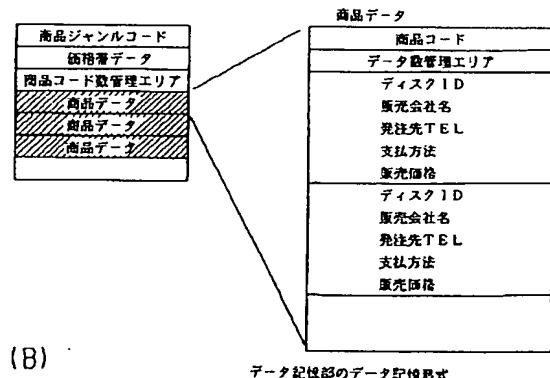
(A)

データ記憶部のデータ記憶形式



(B)

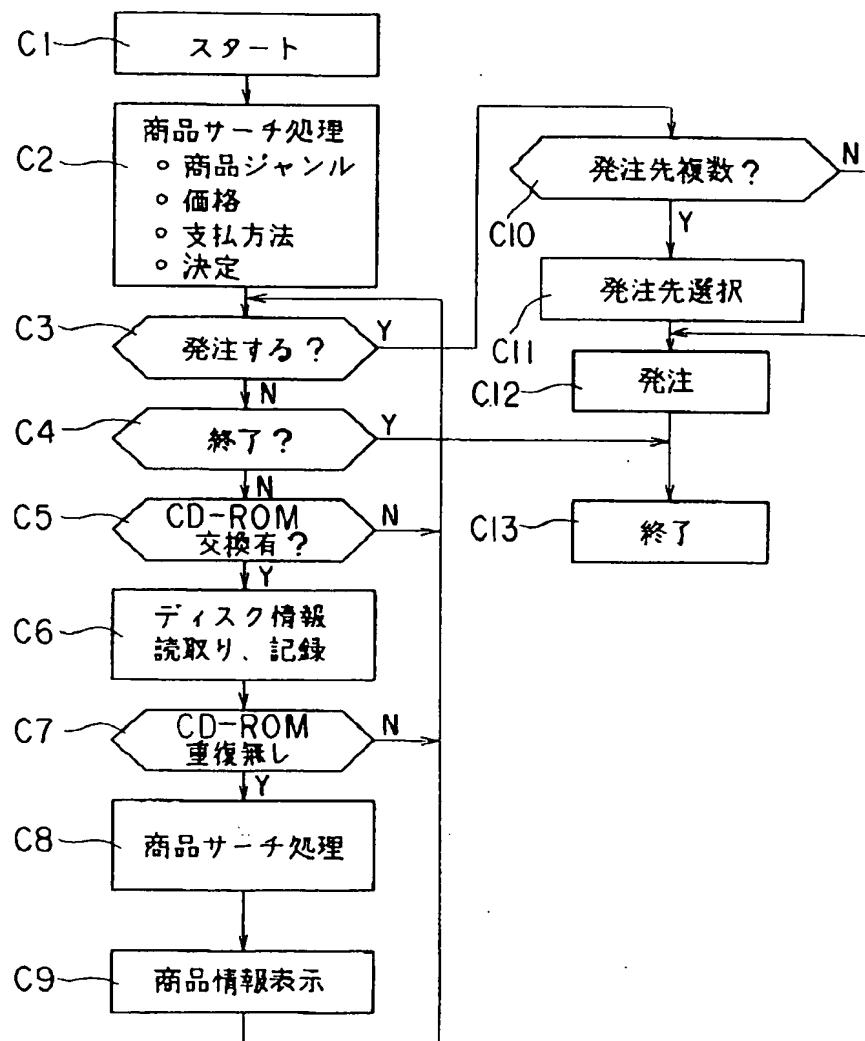
表示部の他の表示画面例



(B)

データ記憶部のデータ記憶形式

【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 渡部 桂一
 東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エ
 ー・ブイ・イー株式会社内